

単元名 ひと目で伝えるための工夫(デザインや工芸など)

配当時間 5時間

- 単元の目標 (1) 形や色彩が感情にもたらす効果や、具体物や行為を表す形の特徴などを基に、伝達するイメージなどを捉えることができる。
- (2) 伝えたい内容やイメージなどを基に、伝える相手や場面などから主題を生み出し、形や色彩などによる伝達の効果と美しさなどとの調和を総合的に考え、表現する構想を練ることができる。伝えたい内容やイメージとの調和のとれた洗練された美しさなどを感じ取り、作者の意図と創造的な工夫などについて考えるなどして、美意識を高め、見方や感じ方を深めることができる。
- (3) 美術の創造活動の喜びを味わい主体的に伝える目的や機能を考えてひと目で分かるピクトグラムの構想を練ったり、意図に応じて自分の表現方法を追究し見通しをもって創造的に表したりする表現の学習活動に取り組もうとする。

標準的な展開例

11270301_001

【準備等】画用紙、タブレット、筆記用具、色鉛筆、絵の具

学 習 活 動	留 意 事 項 な ど
<p>1 参考作品を鑑賞する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○身近に見られるピクトグラムやサインなどにはどんなものがあり、どんな役割をもっているか発表し合う。 <p>★親しみのあるピクトグラムの特徴は何だろう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○参考作品を鑑賞し、その役割や形、色彩などの特徴を考える。 <p>2～4 主題を基に構想を練り、制作する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○身近にある問題で解決したい事柄や、多くの人に発信したい内容、場面などから主題を生み出す。 <p>★身近なピクトグラムをつくろう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○主題を基に構想を練り、アイデアスケッチをする。 <p>○互いのアイデアスケッチについて客観的な視点をもって批評し合い、よりよいデザインを追究する。</p> <p>○アイデアスケッチを再考し、決まったデザインについて描画材料の特性を生かし、見通しをもって制作する。</p> <p>5 鑑賞会を行う。</p> <p>★作品のよさや表現の工夫を感じ取ろう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○鑑賞会を行い、表現の意図や工夫について発表し合い、よさや美しさを感じ取り味わう。 <p>○ピクトグラムやサインの効果によって豊かな生活を生み出すなどの美術の働きについて考える。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・学校の近くや生徒が通る場所にある標識のマークなどに注目させ、身近な生活の中にあるデザインの役割に気付かせる。 ・公共施設や交通機関などで見られるサインやピクトグラムなどの参考資料を提示し、その役割やデザインの特徴などを考えさせ、まとめる。 <ul style="list-style-type: none"> ・単純な形 ・遠くからもよくわかる形や色 ・注意を示すのは黄色 ・使われる色の数が少ない など <p>【評】ひと目で伝わるピクトグラムなどをデザインすることに関心をもち、主体的に創造的な工夫をして表したり、表現の工夫を感じ取ったりする活動を通して、「主体的に取り組む態度」を評価する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・問題解決意識をもたせ、主題を明確にさせてから制作に臨ませる。 ・PCやタブレットを使って構想を練ることもできる。 ・瞬時に必要なことを伝えるためのデザインとして、単純化や省略、強調などを用いて形を工夫させ、伝える意味を考えて彩色の工夫をさせる。 ・伝えたい内容が瞬時に伝わるか、親しみやすさやユーモア、多くの人の目に留まりやすいかなど、改善を加える点がないか互いのアイデアについて意見を述べさせる。 <p>【評】伝えたい内容やイメージ、伝える場面などを基に、形や色彩などによる伝達の効果を考え構想を練る活動を通して、「思考・判断・表現」を評価する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・効果的な描画材料を選択させる。 <p>【評】具体物や行為を表す形の特徴などに着目し、伝達のイメージなどを捉え、絵の具などの特性を生かし、見通しをもって表す活動を通して、「知識・技能」を評価する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・他者の作品のよさや表現の工夫に共感して味わえるよう、肯定的な見方で鑑賞会を行う工夫する。 ・生活を美しく豊かにするための美術の働きについて考えさせる。 <p>【評】伝達のデザインの調和のとれた洗練された美しさなどを感じ取り、生活や社会を美しく豊かにする美術の働きについて考えるなど見方や感じ方を深める活動を通して、「思考・判断・表現」を評価する。</p>

【 備 考 】

本単元は、導入において、日常生活でよく見かけるピクトグラムやサインを鑑賞させ、それらが多くの人に瞬時にメッセージを伝え、生活を円滑にするための役割を担っていることや、洗練された形や色を使い、美術の働きによって生み出されたものであることにも気付かせる。制作においては、身近で、デザインによってよりよい

生活が期待される場所や内容の構想を十分に考えさせる。また、客観的な視点ももたせながら取り組ませることも大切である。